



引ノ山

本校は、引ノ山（ひきのやま）と呼ばれる丘陵地を切り開いて建てられた学校です。

学校建設前の調査により、13基の古墳が発見されました。そのほとんどは円墳で、甕棺や木棺が直葬されているものですが、第13号墳は横穴式石室をもつものでした。墳丘部など大部分が消失してしまっていますが、現存しています。その他には須恵器や土師器などが出土し、その一部は本校の玄関に展示しています。

引ノ山は子どもたちの良い遊び場となっています。壁面をよじ登ったり、秘密基地をつくったり、秋にはどんぐりを拾ったりアケビを取ったりしています。ここではシイタケの栽培をしています。すぐ近くには柿畑もあり柿狩りも楽しんでいます。

キジや野ウサギも時々顔を見せます。自然いっぱいの中で、子どもたちはすくすくと育っていています。



引ノ山



第13号墳